

一般社団法人 広島県障害者スポーツ協会

平成最後の

広報誌 第13号

平成31年3月31日発行

2019年度広島県障害者スポーツ協会強化指定選手決定

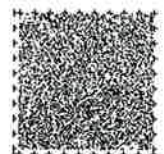
2109年度一般社団法人広島県障害者スポーツ協会強化指定選手として21名が決定いたしました。各競技別に専門的指導者の指導を受けながら、競技力向上に向けた練習に取り組んでいただきます。

ランク	競技(障害区分)	選手氏名	ランク	競技(障害区分)	選手氏名
A	陸上(身体)投てき	渡邊 大輔	B	水泳(身体)	谷口 尚美
A	陸上(身体)投てき	白砂 匠庸	B	陸上(知的)短距離	鴉越 太心
A	陸上(知的)短距離	上村 勇貴	B	水泳(知的)	大賀 康平
A	陸上(身体)短距離	青木 涼	B	水泳(知的)	佐藤 真美
A	卓球(聴覚)一般卓球	伊藤 優希	B	水泳(身体)	山本 律子
A	卓球(知的)一般卓球	川崎 歩実	B	水泳(知的)	佐久間 悠
A	トライアスロン(身体)	安井 正文	B	アーチェリー(身体)	徳政 宏一
A	ボッチャ(身体)	古満 渉	B	卓球(身体)一般卓球	芝内 篤子
A	テニス(聴覚)	梶下 怜紀	C	卓球(知的)一般卓球	烏田 豊
B	陸上(身体)投てき	別府 礼子	C	卓球(知的)一般卓球	桑田 拓弥
B	水泳(身体)	立石 裕樹			

特別会員継続のお願い

広島県障害者スポーツ協会もあつという間に3年が経ちました。会員のみなさまには日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

県内の障がい者スポーツの普及・振興には、まだまだ県民の皆様や企業・団体の皆さまのご理解とご協力が必要です。会員の皆さまには引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



強化指定選手支援 **メディカルチェックを実施しました。**

強化指定選手の支援の一環として、メディカルチェック・フィジカルチェックを広島大学病院スポーツ医科学センターにて実施しました。

心電図や血液検査の他、パフォーマンスチェックも行いました。結果は後日選手に渡し、競技力向上に役立てていただきます。



細かいところまでチェックします。

新たに指定された選手についても新年度にメディカルチェックを予定しております。

結果を基に、コンディションを整え、最高のパフォーマンスを発揮できることを期待しています。



パフォーマンスチェック中の渡邊選手

四者協定イベント **シミズボランティアアカデミー**

広島大学 × 広島県障害者スポーツ協会 × 広島県 × NPO 法人 STAND

2月11日に四者協定イベント「シミズボランティアアカデミー」を開催いたしました。この度のイベントは清水建設株式会社様にご支援いただきました。

「パラスポーツとボランティアの魅力を知る基礎講座—知れば知るほど面白い！パラスポーツの世界—」ということで、講師には2008年北京パラリンピック視覚障害者柔道90キログラム級日本代表の初瀬 勇輔さん、2012年ロンドンパラリンピックマラソン競技日本代表の花岡 伸和さん、社会福祉法人日本盲人社会福祉協議会東京都視覚障害者生活支援センターの石川 充英さんをお迎えしました。



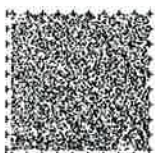
車いすの介助を体験する受講生



アイマスクをして視覚障がい体験を行う

パラリンピックのお話はもちろんのこと、「コミュニケーションとおもてなし」の講座では、実際にアイマスクをしての移動体験や、車いすの介助方法などをしていただきました。

2020年が近づくにつれ、障がい者スポーツやパラリンピックに興味を持たれる方も増えてきている中でこのアカデミーは参加者の方にとってはとても貴重な時間だったと思います。「目が見えないと少しの距離を歩くだけでも大変だなんて知らなかった」「普段は気にならない段差も、車いすだとすごく高く感じる」など参加者の方は新たな発見があったようです。『インクルーシブな共生社会の実現』が今後もどんどん広がっていくといいですね。



障害者スポーツの振興事業 指導者と特別支援学校の教員を対象とした障害者スポーツ体験講習会



身体全体を使いゴールボールを体験する参加者

「ゴールボール」「カローリング」の体験を通して、障害のある方への指導知識を深めていただきました。

障がい者スポーツ指導員の資格取得後、活動の機会が少ないことから指導経験がない方は多く、今回の事業が、スキル向上や現場での指導に役立てられることを願っています。障害者スポーツ指導員資格をお持ちの方が、各地域で活動していただけることが県内全域での障害者スポーツ普及・振興につながります。

もう一つは特別支援学校の教員を対象としたスポーツ体験会です。学校体育ではいろんなスポーツを経験できます。学校の先生が色々な障がい者スポーツを知ることにより、子どもたちにより多くのスポーツを経験してもらいます。スポーツを身近な存在と知ってもらうことやたくさんのスポーツを知ることにより、実際に競技を始める際の選択肢を増やすことが可能です。

今後も様々な体験会を計画しています。まずは、知ること、実際にやってみることから始めませんか。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

昨年度に引き続き、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の助成を受けて、県内の障害者スポーツの振興事業を実施しました。

その一つである指導者を対象とした障害者スポーツ体験講習会。この事業は、県内各地域で実際に指導が行える指導員の養成を目的としたもので、県内3地域（福山市・三次市・府中町）で開催しました。

理学療法士やスポーツ推進委員、施設職員等、様々な職種の方にご参加いただき「ボッチャ」「ゴ



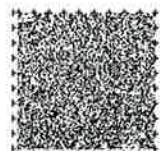
重度障がいの生徒を想定し、ボッチャの体験をする教員

障がい者スポーツ指導員養成講習会が終了 総勢70名が受講



陸上競技用の車いす（レーザー）に乗る受講者

平成30年度は3つの講習会を開催しました。初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（38名）中級障がい者スポーツ指導員養成講習会（7名）中級障がい者スポーツ指導員養成講習会（理学療法士対象）（25名）総勢70名の方が受講されました。これから地域で活動していただき、県内全域で障害者スポーツの普及・振興を図っていただけることを期待しています。



「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」様よりご寄附をいただきました



「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」様より、昨年につき、障害者スポーツへの支援として広島県障害者スポーツ協会へご寄附をいただきました。

3月7日、東広島市のスポーツ交流センターにおいて寄贈式が行われ、同社東広島支社長の丸子 圭一様より目録の贈呈を受けました。いただきました温かいご寄附は、県内の障害者スポーツの普及・振興に大切に活用させていただきます。



2019 年度実施主要事業（概要）

① 普及啓発・広報	教室・体験会の実施、イベントの開催、広報誌の発行、ホームページでの情報発信等	④ 選手の育成・強化	医療サポート、研修会の開催、コーチ・トレーナー支援、育成・強化プログラムの策定・実施等
② 障害者スポーツの振興	地域への職員派遣、地域での体制強化、全国障害者スポーツ大会予選会の開催、選手団の派遣等	⑤ 競技団体支援	市町や地域団体等の活動状況実態調査、障害者スポーツ競技団体への助成等
③ 人材育成	障がい者スポーツ指導員養成講習会の開催、指導者を対象とした講習会の開催、特別支援学校教員を対象とした体験会の実施等	⑥ その他	協会の運営、公益法人化を目指した取組、寄附金や各種助成金の活用、各種大会への運営協力等



行事予定

（2019年3月現在の予定です。今後決定する予定は随時広報誌、ホームページ等で掲載します）

◆ 主催事業

- ・ 第13回広島県障害者陸上競技大会 5月18日（日） 会場：広島県立びんご運動公園
- ・ 第19回全国障害者スポーツ大会（サッカー競技）中・四国ブロック予選会 6月8・9日（土・日）
会場：広島県立びんご運動公園

◆ 共催事業

- ・ 第21回広島県障害者水泳競技競技大会 4月29日（月・祝） 会場：スポーツ交流センター
- ・ 第19回広島県障害者フライングディスク競技大会 6月23日（日） 会場：広島県立びんご運動公園

◆ 協力事業

- ・ メキシコ選手団事前キャンプ&広島発アーバンスポーツフェスタ

4月13・14日（土・日）会場：イオンモール広島府中

～ あとがき ～

パラリンピック開催まであと1年です。最近ではパラスポーツを多くの人に知っていただいているという実感も増えてきました。新年度もたくさんの方にパラスポーツを知っていただけるよう色々な企画を行ってまいります！！（鈴木）

◇ 発行 ◇

＜広島県障害者スポーツ協会事務局＞
〒739-0036 広島県東広島市西条町田口 295-3
スポーツ交流センター内
Tel 082-426-3333 Fax 082-425-6789
Mail hirosshima-psa@vesta.ocn.ne.jp

